



大崎運輸区分会での露骨な脱退策動！

東労組は組合員を全力で守ります！



JR東労組 大崎運輸区分会情報
2018. 2. 23 No.265
発行責任者 小林 達也
編集 集情宣部

大崎運輸区・副区長による不当労働行為発覚！

用意周到していた「賃金控除停止依頼書」を、組合員へ手渡す。
この行為は、東労組の脱退を促す不当労働行為である！
責任組合・東労組との信頼関係を破壊させているのは会社だ。

- 2月20日（火） 太田常務が職場に来て、訓示を述べる。
- 2月21日（水） 明けの組合員が分会役員へ東労組の脱退を打ち明ける。分会役員は留まるように話す。
11:40 頃
15:00 過ぎ
15:15 頃 支社運用課・坂本グループリーダーが来区。
脱退を打ち明けた組合員が、まだ制服で本区にいたので、泊りの分会役員が組合員の「心境・悩み・不安」などの話しを聞く。
- 15:20 頃 涙を流しながら組合員が、茶封筒を分会役員へ差し出し、分会役員が「脱退届、賃金控除停止依頼書」の2つを確認する。
- 16:30 頃 明けで制服姿のその組合員と区長が、内勤会議室に入っていく。
- 2月22日（木） 支部役員が副区長と話し、副区長は「賃金控除停止依頼書を組合員へ渡した」こと話す。

組合員の皆さん、東京地本のHPをご覧ください。
会社による「東労組脱退策動」を赤裸々に訴える
脱退した多くの人々の声が掲載されています。

組合員を泣かせる会社を許さない！